

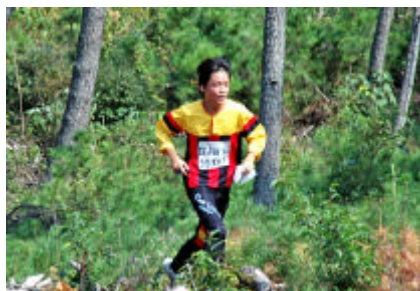
孫たちと爺々のオリエンテーリング NO.38

渡辺 幸(中2)・綺羅(小2)・来生(幼)、東野基生(中2)、武石雄市(M70)

武石雄市

成長がうれしい中学生。見事に魚の骨(加賀海岸)をクリアー。永平寺-東尋坊-加賀海岸-津幡スコア、充実した3日間。

しかし、部活とオリエンテーリングの両立は至難だ。フィットネス Oは次世代エリートの温床に?



MJ 1走7位、ラスコンに向かう渡辺幸



パンチしながら眼は誘導走路を睨む



順位を一つ上げ颯爽と会場に戻ってきた東野基生

参加が叶った全日本リレー

幸と基生、二人は同じ中学2年生で部活はサッカー部である。二人はオリエンテーリングも大好きで、今年部活の合間に参加している数少ないオリエンテーリング大会でも確実に結果を出



年長の名門学生に伍してトップ走の任を果たしラストコントロールをパンチし、1秒でも早く2走へ! チェンジオーバーに向かう渡辺幸(写真提供 上林弘敏)

してきた。

爺々は二人のオリエン素質を見込んで数多く大会に連れ出したいと思っているが、部活の大会や練習試合もまた当然のように土曜日や日曜日である。

爺々は二人を何とかして10月7日の全日本リレーMJクラスに出場させたいと思っていた。締め切りまでに1名不足のメンバーを岩手県と複合チームを組むことで会場入りするところまで漕ぎ着けた。

爺々「幸、リレーのメンバーに岩手県立大1年の関野君が出てくれることになったよ」

幸「よかったなあ、爺々全日本の場所はどこなの?」

爺々「石川県の加賀海岸、何年か前にインカレ大会をやった場所だ。関君は福島駅から車で一緒に移動だ。参加はできることになったが弱小協会のチーム編成には苦労するよ。」



MJクラス 山形・岩手複合チーム
左から東野基生、渡辺幸、関野雄人

永平寺そして東尋坊へ

10/6 公認東尋坊スプリント大会に参加だが、車はAM7時で北陸道金沢I/C、予定よりあまりに早い。

爺々「おーい、みんな眠ってる?このまま東尋坊に行っても早い。永平寺に行こうと思うがどうかかな?」

幸「永平寺って?」

爺々「曹洞宗総本山でお坊さんになる修行僧が大勢修行しているお寺だよ。永平寺の鐘樓の鐘は2年

ごとに NHK の大晦日番組行く年
来る年で必ず放映されている有
名な鐘だ」

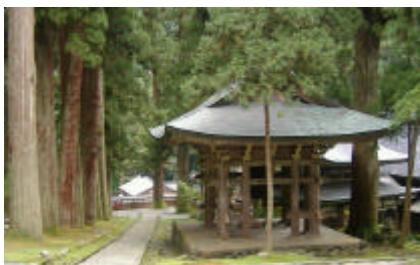
一同「寄り道賛成！！行った事がない
から行って見たい！！」

拝観料を払い順路を進んだ。本堂は
傾斜がある広い中庭を挟んで正面の一
番高いところに数百年の時を経ても荘
厳なたたずまいで日々の仏事や新入門
修行僧の修行が行われている。

所々の坊では修行僧が経文を唱えて
なにやらの儀式動作を何べんも繰り返
し繰り返し演連している。その様子を
違い窓から覗いている参拝者も声を発
することが悪のような感じになり意識
的に声を低くして眺めては立ち去って
行く。

ここでは時の移ろいが遅く感じる。
「この世に生を受けて 70 年、生かされ
ている有難さに感謝し、万物の霊長を
認め自然への還元の意識が進む」

傍らでは長い急な階段を、供え物を
載せたお膳を掲げて韋駄天のように駆
け上ってゆく修行僧が居る。誰も言葉
を発しない。瞬時、時空の異質を感じ
た。



杉の古木に囲まれた永平寺の鐘楼

公認東尋坊スプリント

永平寺を後にして東尋坊に入った。
流石に名所だ、スキー仲間や多数の
顔見知りの方々も尋ねていた。何年前
に尋ねた頃とは大違い、人、人、人
で自殺の名所なのにとても自殺が出来
る環境ではなくなっていた。「ちょっと
待て・・・」の看板も見えないので
自殺するものは居なくなったのかもし
れない???

芝生広場に荷物を置いて、幸と基生
は自分のスタート時刻に合わせて其々
レースに出て行った。

幸「爺々、堀江君が蜂に刺されたって」

爺々「蜂？何蜂かな、スズメバチなら
大変だぞ。堀江君大丈夫か？」

堀江「ボクはお尻と太ももの 2 箇所刺
されました。痛いのと暑いのが
交錯しています」

爺々「救護で手当ては？」

堀江「ボクのほかに刺されたものが
居るらしくて、氷で冷やし、三
国駅前の病院に行くように言わ
れました」

爺々「よし分かった。みんな出発準
備！！、三国駅の前院に逆走だ」

途中速報で基生君が M20A で 3 位だ。



蜂にさされる前の堀江守弘

全日本リレー選手権

さて、写真でお分かりのように幸と
基生は中学 2 年生としては予期以上の
結果を出してくれた。ほとんど経験し
たことがない海岸トレイン、そして
2.5m のコンターで表現された魚の骨マ
ップ。大会コントローラーの石川清一
氏が曰く「魚の骨はしゃぶればしゃぶ
るほど味が出てきてとっても面白い」

爺々「みんな！我が山形県チームは総
員 9 名、全員が其々のクラスの
選手なので自分の出番は自分で
責任を持って行動してください！！」

一同「OK！、頑張ろう！」

爺々「会場は立ち入り禁止以外のレイ
アウトを実際に歩いて確認する
こと。特にスペクテーターズレ
ーンのコントロールとか 2・3 走
は自分のマップ置き場は必ず確
認しましょう」

基生「緊張するなあ」

爺々「M」クラスは大半が大学生で君
たちより圧倒的に経験も走力も
ある選手ばかりだ。モッチーは
幸からタッチされてからいつもの
レースのつもりで走るより集
中心第 1 で廻ってくれば良いよ」

ピストルの合図でスタートした幸は
MJ クラス 12 チームの最後をゆっくり
と松林に消えて行った。山形県協会旗

を応援旗にして幸がスペクテーターズ
レーンに現われるのを待つ。

MJ の 1 走は宮城が ME の 1 走と伍して
現われた。MJ にとっては驚異的なタイム
だ。その後十数分、幸が来た。なんと 7
位だ。上位で来た選手は皆、名立たる
名門の大学クラブ所属だ。

2 走の基生君もぶっ飛ぶことなく幸
の順位をキープし予想を上回るタイム
でチェンジオーバーに走りこんできた。

3 走は大学に入ってから始めた関野
君、初心者同様なので順位は下がった
が完走したことで複合でもチームワー
クが維持できた。



声援にパンチ忘れの選手も見受けた

雨の津幡スコア大会

3 日目の朝は天気予報の降雨確立ど
おり雨だった。事前申し込みは 100 名
を超えていたそうであるが、スタート
時刻に合わせて集まったのは山口県の
福田さん・弘中さんご一行を始め顔馴
染みのいわゆるオリエンマニアックメ
ンバーが主だった。

地図は平成 12 年、全国スポレクの「あ
がたの森」、無修正のコピープリントに
27 個のコントロール。設置も広い範囲
ではなく 90 分の制限時間では雨でも全
全走破者の出現が予想される。

コントロールの設置位置が地図と一
致せず初期の宝探しのように走る方向
によって左右される運が付きまとった。
2 年後に全国ネンリンピックの会場に
予定されているようなので、地図はリ
メイクされることが望ましい。

予想通り完走者が 2 名出た。一人は
堀江守弘君（山形県）あと一人はなん
と幸なのである。北国新聞の記者が取
材に来て、入賞者の年齢を確認してい
たが、完走した幸が 13 歳だと告げると
速報の周りでは「幸はわれわれと経験
が違う」と、口々に言いそれほどに昨
今の成績を見ていることが分かった。



スコア大会各クラス入賞者の面々

徒然に思うこと

幸を小学校に上がった頃から修行と称して国内大会は勿論スキーOでは海外にも連れ出してきたが、これ以上のレベルアップをさせるには爺々では限界だ。

オリエンテリング界で日本選手が世界の舞台上でトップクラスを目指すには、ロシアやバルト諸国等旧東欧諸国のジュニア強化選手制度、スイスや北欧諸国のクラブのようにジュニアのバックアップを具体化しなければ到底到達できない。それは、他のスポーツ種目、取り分け今話題のゴルフ、体操そして水泳やスケートでも時として世界レベル通用のジュニアが現われることでも、その修練経過を参考に出来る。

いっぽう、当事者の幸には爺々の思考がメンタル上の負担になることも考慮してやらなければならない。

幸 「授業を欠席してまで参加する大会では結果を残さなければならぬからなあ」

爺々 「結果を気にしてレースで萎縮することは爺々の望んでいることとは違う。大会や合宿で其々の課題を設定し、失敗を恐れずのびのびと精一杯レースやトレーニングしてその結果が大切だと思うよ」

幸 「うん、わかった。スキー合宿までの当分の間はサッカーの部活に集中するよ」

爺々 「そうだな、部活は疲れるだろうが、初すべり合宿を意識して走と時々筋トレもやっておけよ」

幸 「はい、ありがとう爺々」

兄貴(幸)に続け

10月13-14日、岩手大・つのだ杯大会に幸と基生の外、久しぶりに次男坊、三男坊を連れ出すことになった。13日のつのだ杯大会ではキッズOやグループOのクラスがない。競技は2人スプリントリレーである。

幸と基生をチームにして全日本リレーのように好成績を期待した。これまで幸のスタートでそれなりの結果を出してきたが、今後の資とするため個人で最近幸の成績を上回っている基生をスタートにしてみた。

基生は性格上コントロールをぶっ飛ばす危険性がある。サッカーのポジションはゴールキーパーだが、試合中熱中のあまりゴールエリアをはるかに飛び出して相手カウンター攻撃で得点されることも見たことがある。

つのだ杯で心配が的中した。カードのペナ判定で分かったことだが、東北大の学生をはじめとするトップ集団でビジュアルコントロールを通過していたと思ったら、パックで競合のあまりパンチ飛ばしをしていたのである。

来生 「じいじい、どこに泊るの？」
爺々 「しずくいしユースホテルだよ」
綺羅 「おなかが減ってきたな。ご飯は何時に食べれるかな」

程なくYHについて全員がっくり？
爺々の申込ミスで夕食がなかったのである。みんな何回かの修行で徐々に野生化し少々のことでは慌てないし動じない。弁当を買うため、岩手山の麓でスーパーを探し出し、暗い長い道をYHに帰ってきた。

翌日、岩手大大会でフットネスを併設してくれていた。どのグループも年長の子や大人(親?)がいるグループなのに、小2の綺羅と幼稚園児の来生二人が揃いのトリムテックスで受付に行くと、「経験者ですね?」と受付てくれた。(感謝!感謝!でした)

来生 「爺々、僕たち3位になったよ」

綺羅 「ほら、賞状もらったよ」

来生 「クッキーの賞品ももらったよ。

僕、賞品食べたいな」

爺々 「食べて良いよ」

来生 「やったー、はいモッチー。はい幸。はいじいじい。残りはボクと綺羅が食べるよ」



幸が目標の綺羅(2男)来生(3男)どんな大会にもフィットネスクラスを併設できないかなあ。

(武石雄市)